

A T A サテライト in 下関

**統合失調症など精神障害者の支援機器を考える
～生活管理から就労継続～**

N P O 法人メッセージ花くじら 理事長 石田 眞

N P O 法人メッセージ花くじら紹介

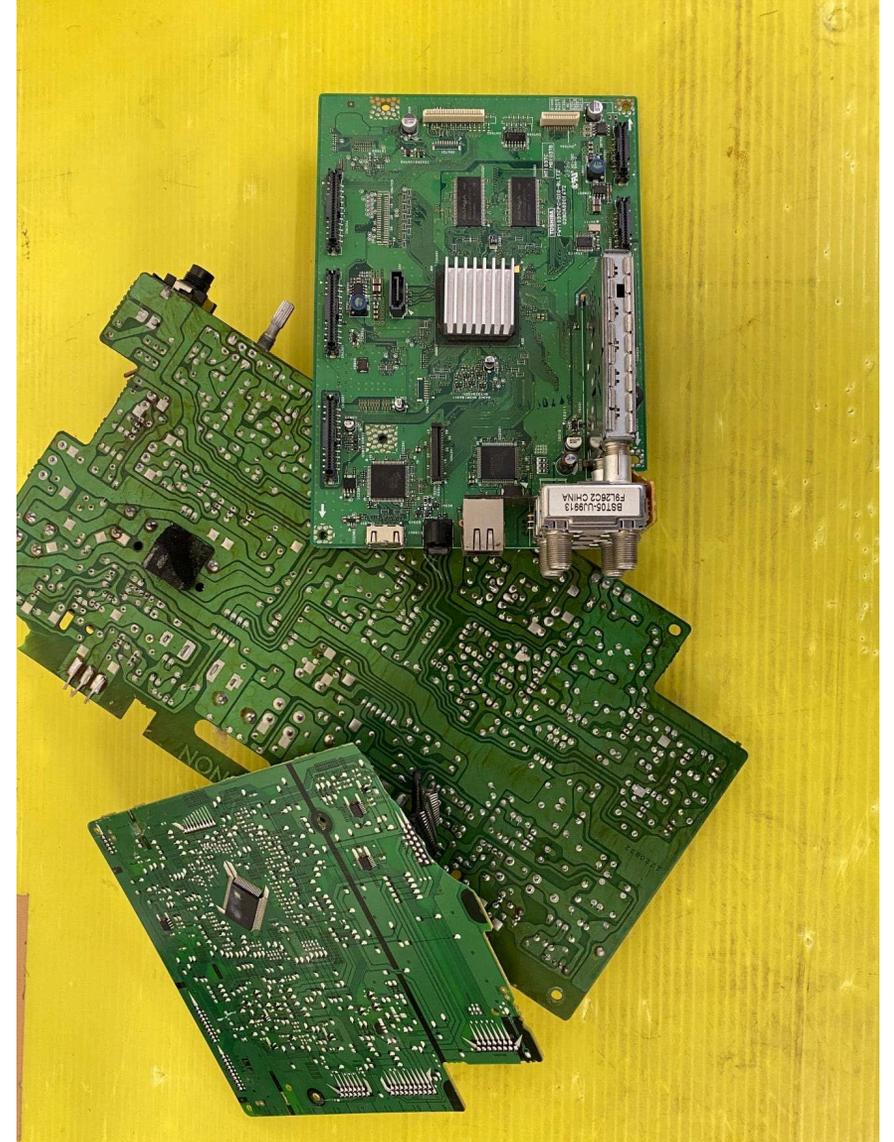
事業所紹介

◇下関◇

就労育成事業所 花くじら（就労継続B型）

住所：下関市田中町17-13

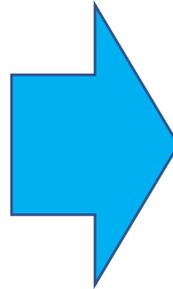
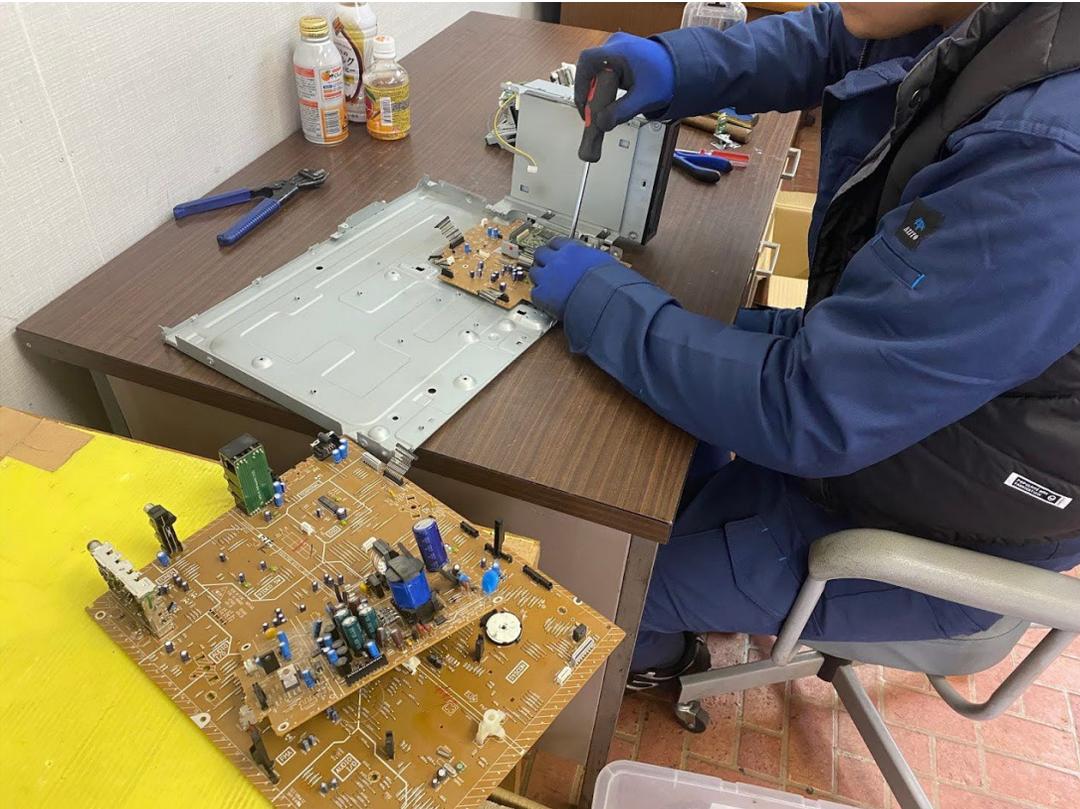
作業内容：使用済み小型家電解体作業



N P O 法人メッセージ花くじら紹介

事業所紹介

◇下関◇下関海峡マラソンでは花くじらで、小型家電から抽出された金メッキから制作された金メダルが贈呈される



NPO法人メッセージ花くじら紹介

事業所紹介

◇下関◇下関市市長にメンバーと一緒に贈呈 報道陣も多数



NPO法人メッセージ花くじら紹介

事業所紹介

◇下関◇下関海峡マラソンの優勝者へ



NPO法人メッセージ花くじら紹介

事業所紹介

◇北九州◇

就労育成事業所 花くじら

(B型施設外事業所)

住所：北九州市門司区東港町1-24
旧門司税関内

作業内容：

ブルーウィング門司港跳ね橋開閉作業



統合失調症など精神障害者の支援機器を考える ～生活管理から就労継続～

1.参加者

当事者代表として就労を望んでいる精神障害のある方（統合失調症など）
○Aさん（統合失調症・当事者）、 ○Bさん（自閉症・家族）さんにご参加いただいた

その他参加者○座長 石田眞（就労育成事業所 花くじら） 、
○吉田瑞恵（就労育成事業所 花くじら、元・特別支援学校教員）、
○田中恩（よしみず病院脳神経センター）、
○末田耕蔵（太陽の家事業所）、
○佐川亜希・佐藤奈都子・川瀬英路（支援機器開発・研究者）



統合失調症など精神障害者の支援機器を考える ～生活管理から就労継続～

2.当日のディスカッションの中で確認されたニーズと課題

解決すべき課題・ニーズ

安定した就労継続には、**毎日の生活管理が重要**。
(例えば、朝起きて準備する。髭を剃る。身だしなみを整える。)

精神障害のある方の場合、夜型の人が多く、朝起きれないことがある

機器やシステムのイメージ

生活管理を当事者自身で簡単にできるもので、操作が簡単で、生活の状態や体調なども可視化され本人が振り返りができるもの

またサポートする組織・人が同じアプリ（システム）を共有し使えるもの

当事者や関係者への通知機能（メールは△、振動刺激などで知らせるのが有効か？）

当事者から取得した生体情報を医師・医療機関などと連携できること

統合失調症など精神障害者の支援機器を考える ～生活管理から就労継続～

2.当日のディスカッションの中で確認されたニーズと課題

解決すべき課題・ニーズ

働かなければいけない時間は分かっている。

ただ出勤するまでに色々と考えてしまう。

例えば、発作が起きた場合、誰か助けてくれる人はいるかなど。

そうして本来の仕事を忘れてしまう。



機器やシステムのイメージ

生活管理と共に、次のタスクについて通知してくれるようなシステム

統合失調症など精神障害者の支援機器を考える ～生活管理から就労継続～

2.当日のディスカッションの中で確認されたニーズと課題

解決すべき課題・ニーズ

まずは当事者の思いをきちんと受け止めることが必要。
思いや目的とその周辺で困っていることを
きちんとアセスメントした上で、
それをマッチングするアプリやシステムがあると良い。

機器やシステムのイメージ

当事者が望む条件ややりたいこと（できること）と求人をマッチングする
アプリ

生活管理から就労継続を目指し現在準備中の取り組み

生体情報や生活管理履歴

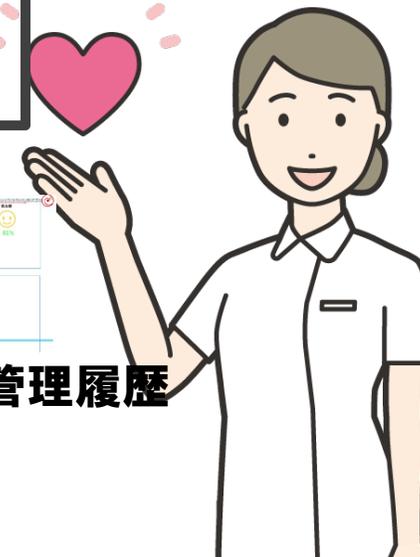


生活支援事業所

共通のシステムで
毎日の活動履歴や生活支援情報・生体情報・
服薬履歴などを共有することにより、
当事者の方々が安心して働き自立していく
環境を地域で創っていくことができる



生体情報や生活管理履歴



よしみず病院脳神経センター

メッセージ花くじら
当事者

共有

スタッフ

生体情報や生活管理履歴

